

WebAlbumGenerator マニュアル

kengo92i

2014 年 08 月 08 日

1 はじめに

1.1 概要

「WebAlbumGenerator」は Web アルバムページを自動生成してくれるソフトウェアです。貴方はもう Web アルバムを作るのに時間をかける必要はありません。写真をフォルダにまとめて、タイトルと日付を書いたら、クリック 1 つで Web アルバムページが完成します。旅行やイベントの思い出などを貴方も Web ページとして公開してみませんか？必要なのは”思い出”だけ。HTML や CSS、そして JavaScript の知識は必要ありません。それは「WebAlbumGenerator」の仕事です。

1.2 ライセンスについて

「WebAlbumGenerator」は The MIT License によって保護されています。

The MIT License

- このソフトウェアを誰でも無償で無制限に扱って良い。ただし、著作権表示および本許諾表示をソフトウェアのすべての複製または重要な部分に記載しなければならない。
- 作者または著作権者は、ソフトウェアに関してなんら責任を負わない。

上記の内容に基づいて、本ソフトウェアは保護されています。基本的には自由に扱う事が出来ますが、上記のライセンスを違反するような行為は禁止されています。原文や詳細な内容はソフトウェアに付属している「LICENSE.txt」をご覧ください。

1.3 動作環境

「WebAlbumGenerator」は MacOSX 用のアプリとして開発されています。Windows や Linux などの OS はサポートしていません。推奨環境としては以下のようになっています。

推奨環境

- MacOSX : 10.9.4
- Python : 2.7.5

上記を満たしていない場合の動作は確認していませんが、多分大丈夫だと思います。また、Windows や Linux への対応は未定となっています。

2 使い方

2.1 ソフトウェアのインストール

公式サイトより、「WebAlbumGenerator.dmg」をダウンロードし、起動します。すると、図 1 のような画面が表示されます。表示されたウィンドウ内で、「WebAlbumGenerator.app」のアイコンをドラッグし、「Applications」のエイリアスの上で離します。

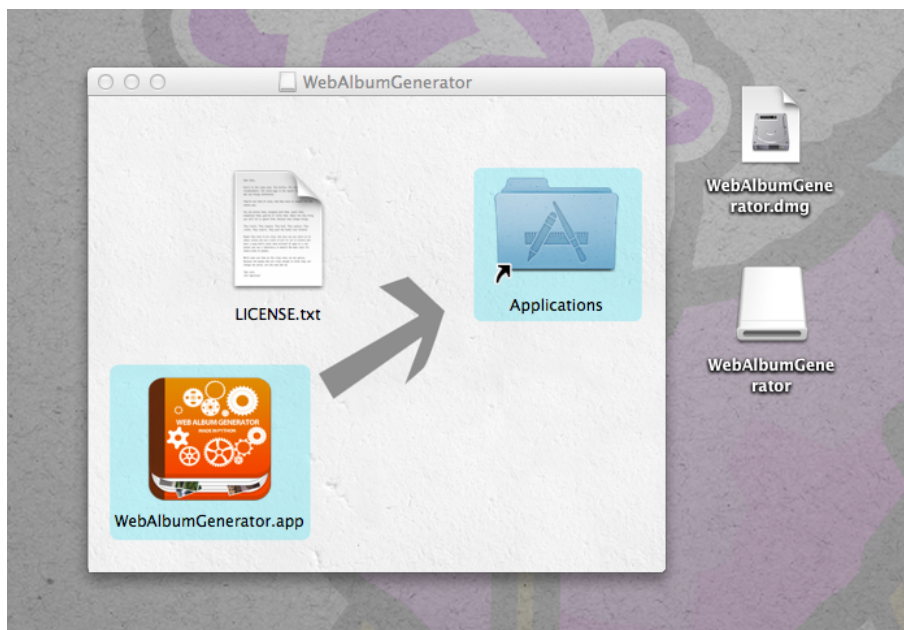


図 1 ソフトウェアのインストール

この作業を行う事で、PC 内の「Applications」フォルダに「WebAlbumGenerator.app」が保存されます。以降は普通のアプリケーションと同じく実行できるようになります。

2.2 使用する画像を選ぶ

ソフトウェアのインストールが終了した後、アルバムページに使用する画像を1つのフォルダにまとめます(図2)。図2では、デスクトップに「images」というフォルダ作成し、使用する画像をまとめています。

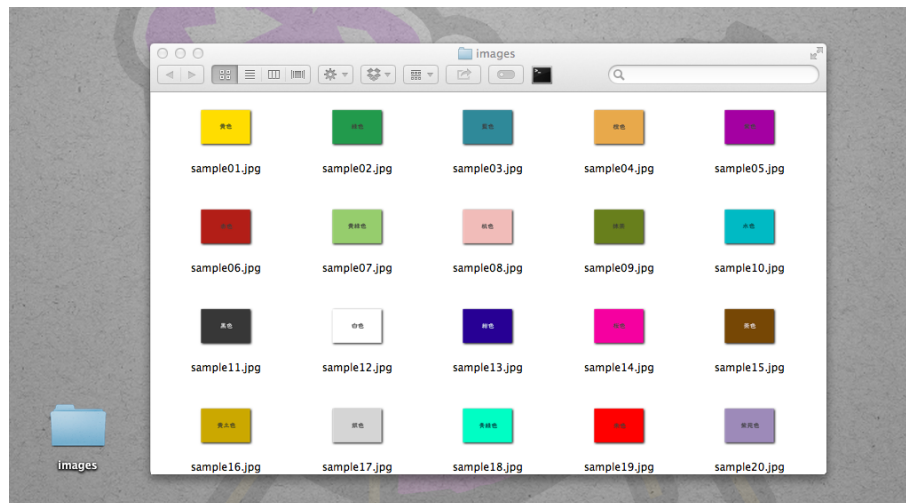


図2 使用する画像をフォルダにまとめる

使用する画像の準備が整いました。ここから、Webアルバムを作成していきます。

2.3 アプリケーションを実行する

「WebAlbumGenerator.app」を実行すると、図3のようなウィンドウが表示されます。入力フォームに必要事項を入力し、問題がなければ、ウィンドウ右下の「作成」をクリックします。

その後、さらにウィンドウが開かれ、フォルダ選択を求められます(図4)。

図4の画面で、必要な画像をまとめたフォルダを選択します。選択したフォルダが問題なければ、「Choose」をクリックします。

フォルダ選択後、表示されているターミナル上に実行結果が表示されます。問題がなければ、デスクトップにWebアルバムが出力されます。

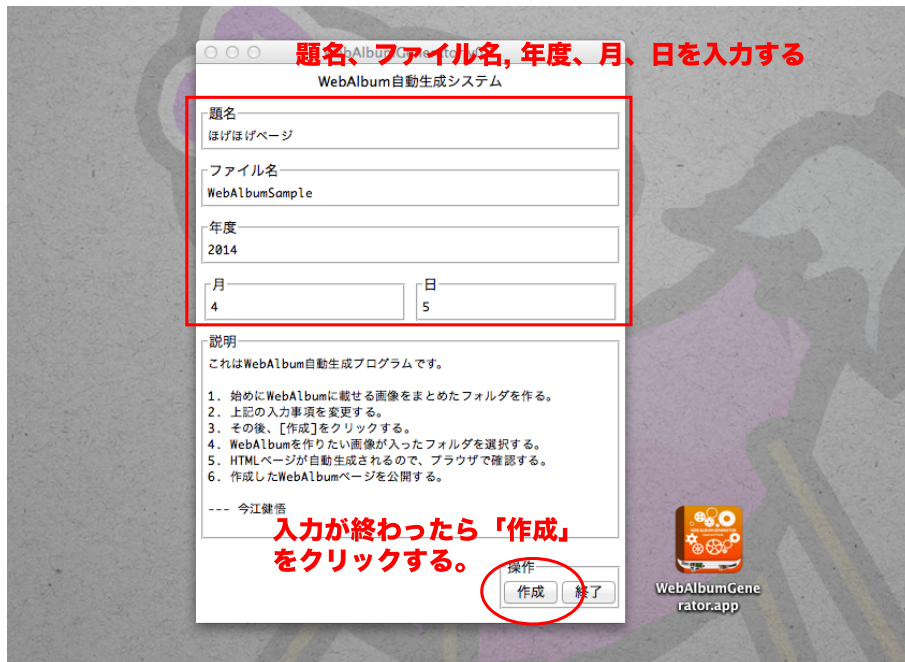


図 3 アプリケーション起動時に表示されるウィンドウ

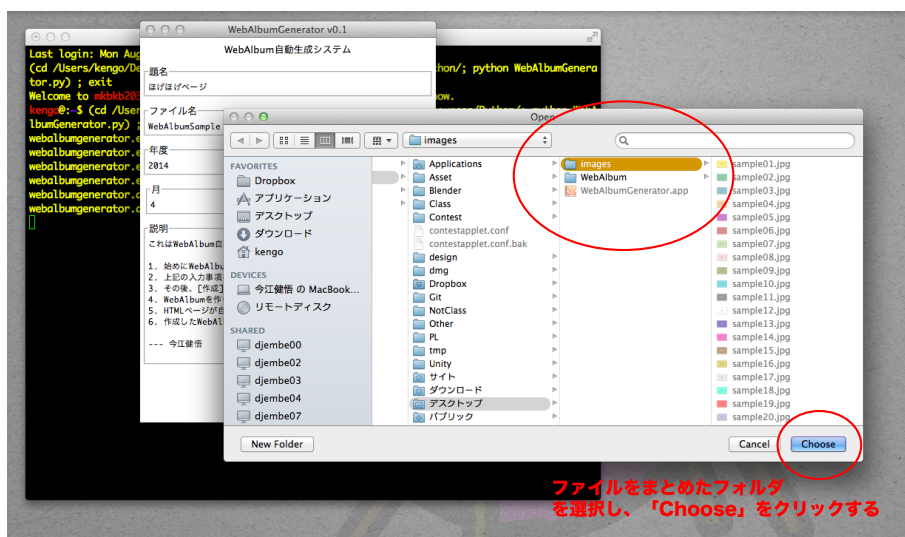


図 4 フォルダ選択画面

2.4 出力された Web アルバムについて

実行時に問題がなければ、デスクトップに「WebAlbum」というフォルダが作成されています。もし、実行中に問題があった場合は、後述の「不具合について」をご覧ください。図 5 が「WebAlbum」フォルダの中身になります。

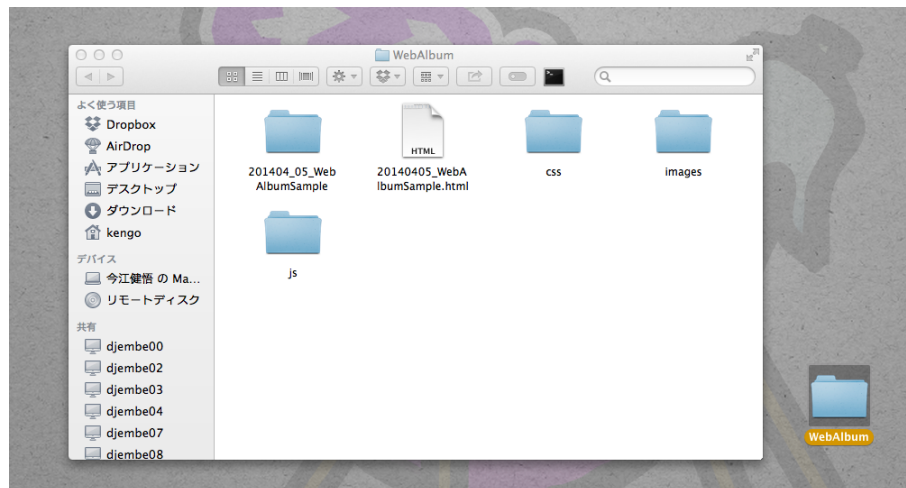


図 5 出力された Web アルバムについて

「WebAlbum」フォルダの中身について

- 201404_05_WebAlbumSample : Web アルバムページ用の画像とサムネイルが入っています。
- 20140405_WebAlbumSample.html : Web アルバムページの HTML ファイルです。
- css : 必要な css ファイル一式が入っています。
- images : Web アルバムページ用の画像が入ってます。
- js : Web アルバムページに必要な Javascript ファイルが入ってます。

初期値で出力した場合のファイル名になっています。入力値を変えた場合はファイル名も変わります。

同じディレクトリ階層に複数の Web アルバムページを公開する場合は、「css」、「images」、「js」はコピーする必要がありません。違う Web アルバムページでも上記のフォルダに関しては中身は同じものになっています。

上記の例で言うと、「201404_05_WebAlbumSample」と「20140405_WebAlbumSample.html」は出力する Web アルバムページによって中身は違うため、コピーする必要があります。

3 不具合について

「WebAlbumGenerator」には不具合が存在しています。もし意図した通りに動作しない場合は以下の不具合に該当している可能性があります。それぞれについて解説しているので、おかしい動作をした場合はご覧ください。

3.1 ディレクトリ指定のパス名に日本語ファイル名が含まれている場合の不具合

必要な画像をまとめたフォルダが日本語ファイル名である場合や、ファイルを指定しているパスに日本語が含まれている場合が該当します。

日本語を含むパスの例について

- /Users/Tanaka/Desktop/沖縄旅行の思い出
- /Users/Tanaka/Pictures/イベント/images

3.2 入力フォームへの日本語入力の不具合

この問題に関して、入力フォームに日本語をうてないという不具合です。原因に関しては、Python の GUI ライブラリの仕様とのことです。解決策としては、日本語文章をメモ帳などでうったものをコピーすると入力出来ます。Python の仕様です。すいません。解決策があれば教えてもらえると助かります。

3.3 その他日本語に関する不具合

そのほかにも、日本語が使われていると動作しない可能性が高いです。まとめる画像ファイルに日本語名が入っている場合なども動作しない原因になります。日本語の問題に関しては、Python の仕様によるところもあるため、Python の仕様ライブラリが日本語に対応するのを待つ事になりそうです。

— kengo92i